



ひと、暮らし、みらいのために

宮城労働局

Miyagi Labour Bureau

<https://isite.mhlw.go.jp/miyagi-roudoukyoku/>

Press Release

報道関係者 各位

令和6年11月14日(木)

【照会先】

宮城労働局労働基準部健康安全課

健康安全課長 二木 多賀子

主任安全専門官 熊谷 昭彦

(電話) 022-299-8839

令和6年度「陸上貨物運送事業労働災害防止キャンペーン」 の実施について

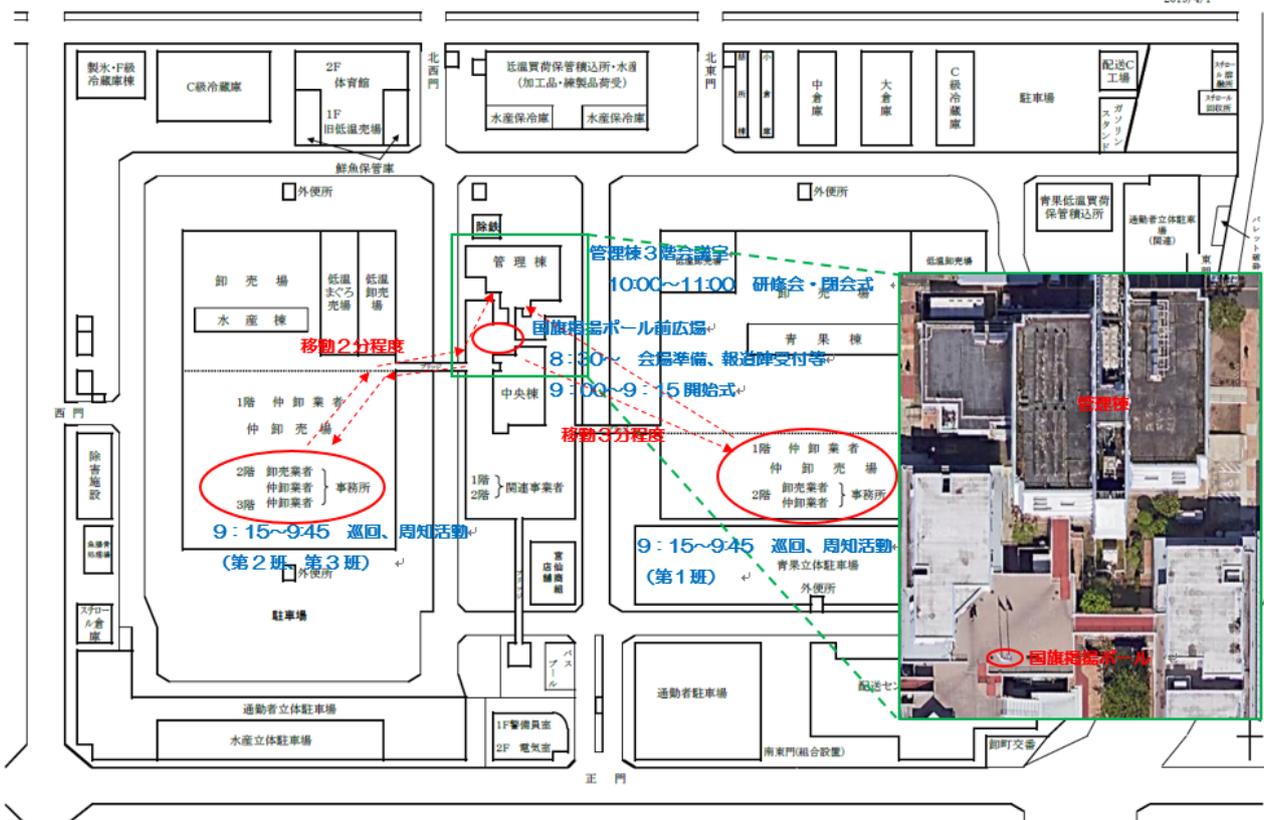
宮城労働局(局長 小宅 栄作)では、労働災害が高止まりする陸上貨物運送事業における労働災害防止について、発着荷主側における配慮及び長時間の荷待ち解消の重要性などを広く周知・啓発することを目的として、下記により標記キャンペーンを実施します。キャンペーン当日は、開始式を公開で行います。

記

- 日時 令和6年11月19日(火) 午前9時～午前11時
- 場所 仙台市中央卸売市場(仙台市若林区卸町4丁目3-1)
開始式 午前9時～9時15分 仙台市中央卸売市場国旗掲揚ポール前広場
(別添1「配置図」参照)
- キャンペーンの概要
労働災害防止の重要性等を周知啓発することを目的に、仙台市経済局中央卸売市場、仙台市中央卸売市場運営協力会及び陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮城県支部とともに市場内の卸売業者・仲卸業者(荷主等事業者)を巡回し、陸上貨物運送事業における労働災害防止への協力などを呼び掛ける。
また、巡回後、市場内の荷主等事業者を対象とした安全研修会を開催し、市場内における労働災害防止について周知する。(詳細は別添2 令和6年度「陸上貨物運送事業労働災害防止キャンペーン実施要領」のとおり。)
- その他
準備等の都合がありますので、取材いただける場合は、事前に上記照会先にご連絡をお願いします。

仙台市中央卸売市場配置図

2019/4/1



別添 2

令和 6 年度「陸上貨物運送事業労働災害防止キャンペーン」実施要領

1 日時

令和 6 年 11 月 19 日（火）午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分

2 場所

仙台市中央卸売市場（仙台市若林区卸町 4 丁目 3 - 1）

3 参加団体

宮城労働局、仙台労働基準監督署

仙台市経済局 中央卸売市場

仙台市中央卸売市場運営協力会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮城県支部

4 実施内容

開始式の後、3 班に分かれて市場内の仲卸業者（荷主等事業者）を巡回し、リーフレット等の資料を配付し労働災害の防止等呼び掛ける。

また、宮城労働局と仙台市経済局中央卸売市場との合同により、市場内の荷主等事業者を対象として、労働災害防止等に関する研修会を開催する。

5 タイムスケジュール

(1) 午前9時～9時15分 開始式（国旗掲揚ポール前広場 集合）

ア 宮城労働局あいさつ

イ 仙台市経済局中央卸売市場あいさつ

ウ 出席者紹介

エ キャンペーン活動要領等の説明

(2) 午前9時15分～10時 巡回（中央卸売市場内の水産棟及び青果棟）

(3) 午前10時～11時 安全研修会（管理棟3階会議室）

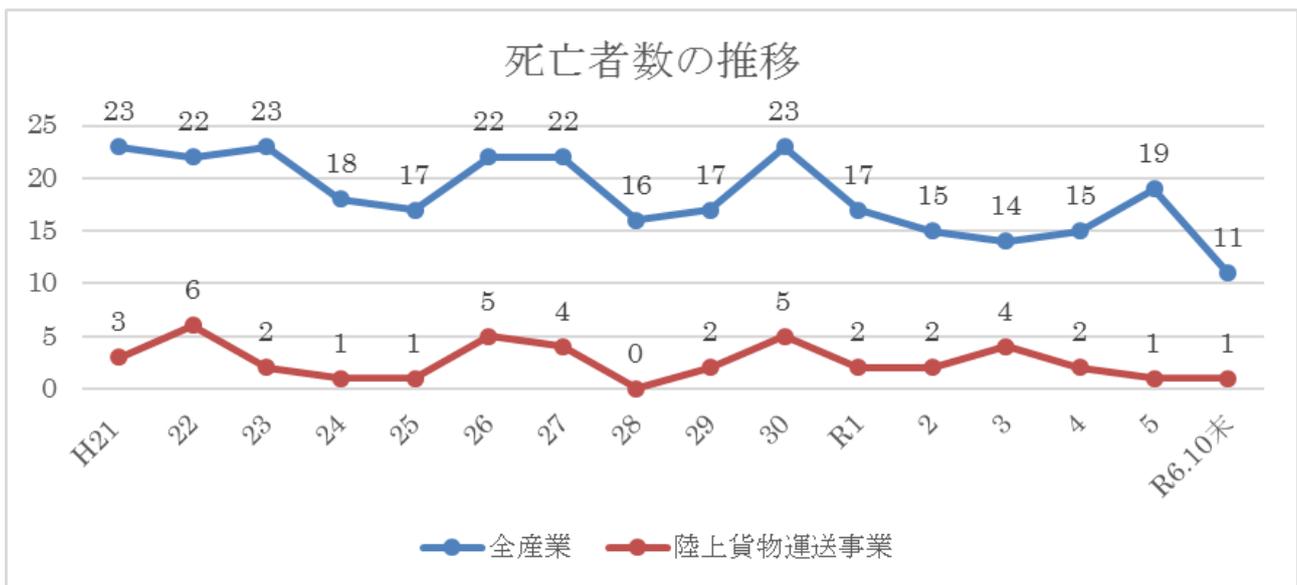
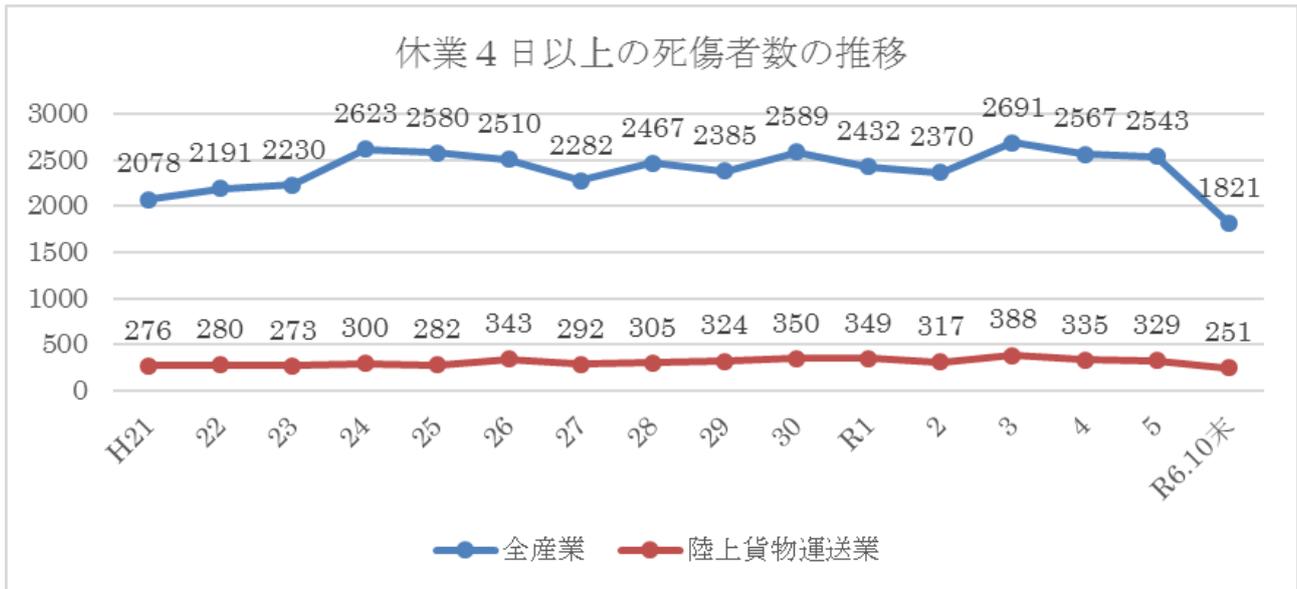
参考

宮城県内における陸上貨物運送事業の労働災害発生状況

県内の陸上貨物運送事業の労働災害による休業4日以上の死傷者は過去20年の間、概ね年間300人前後で推移しています。

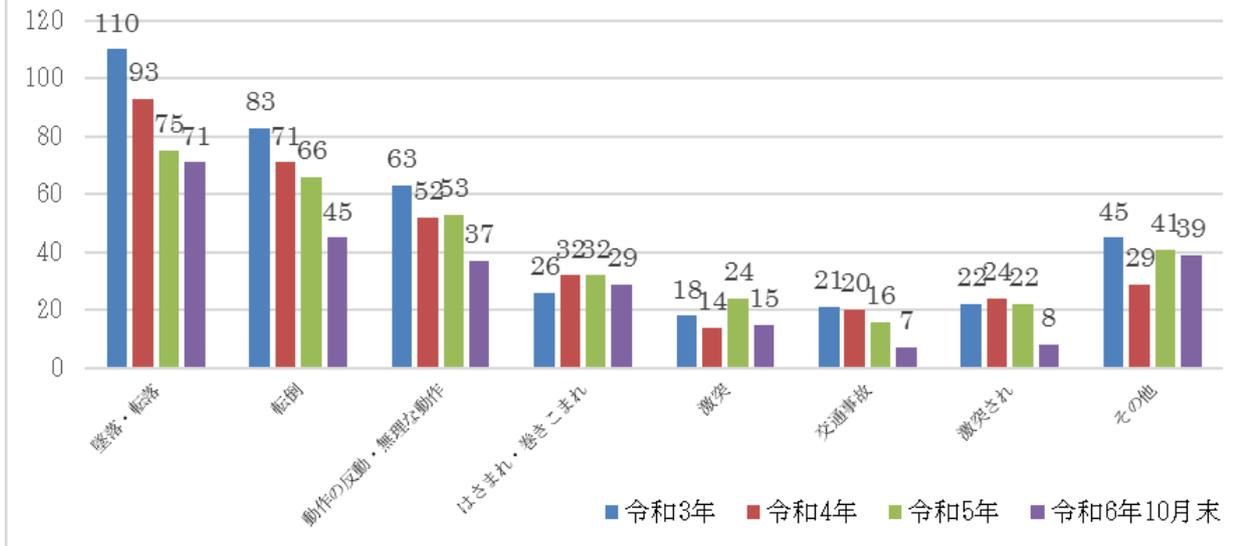
令和5年は死傷者数が329人で（対前年比1.8%減少）、このうち1人が亡くなっています。

今年（令和5年）は10月末時点で死傷者数は251人で、1人が亡くなっています。



陸運業で発生した労働災害を事故の型別にみると、「墜落・転落」が最も多く、次いで「転倒」、「動作の反動・無理な動作」の順となっています。約7割が荷役作業時に発生しており、その約2/3が荷主先で発生しています。

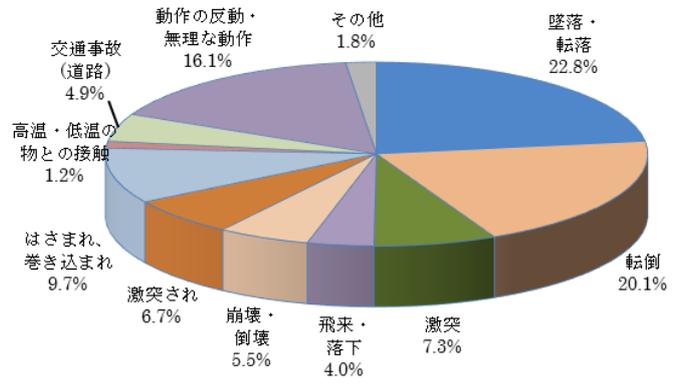
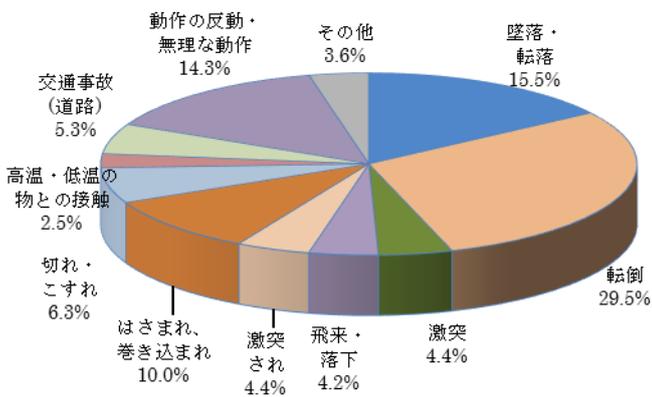
陸上貨物運送事業の事故の型別の推移



事故の型別の状況

令和5年・全産業 (2,543人)

令和5年・陸上貨物運送事業 (329人)



月別発生状況

令和5年・全産業 (2,543人)

令和5年・陸上貨物運送事業 (329人)

